

第8回日本公衆衛生看護学会学術集会

テーマ：公衆衛生看護のプロフェッショナルリズム—学び合う文化の醸成

日時：1月11日（土）～12日（日）

会場：松山市総合コミュニティセンター（愛媛県松山市）

プログラム：

【前日（1月10日）】プレセミナー「地域診断を活かした健康まちづくり—保健師活動とまちづくり活動の連携」鶴飼修（滋賀県立大学地域共生センター准教授）

【1日目】

会長講演「公衆衛生看護職のプロフェッショナルリズム」野村美千江（愛媛県立医療技術大学教授）／ランチョンムービー：見る支援「ドキュメンタリー映画『MARCH』—愛媛FCとSeeds+の絆が愛媛と福島をつなぐ」山本逸平（映画MARCH制作委員会愛媛事務局）／ランチョンセミナー「睡眠の質を上げるヒケツとは!?—よく眠った人には、かなわない。」（共催：東洋羽毛中四国販売株式会社）／来賓挨拶 宮寄雅則（厚生労働省健康局長）、中村時広（愛媛県知事）、野志克仁（松山市長）、井伊久美子（日本看護協会副会長）／ゲストスピーチ「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」井伊久美子／特別講演「地域ケアシステムの推進とプロフェッショナル育成」池田学（大阪大学大学院医学系研究科教授）／シンポジウム「市民とともに地域をつくるプロフェッショナル」：「離島・過疎地域における福祉活動」島崎義弘（今治市社会福祉協議会総務部長）、「地域愛着とソーシャルキャピ

タル」大森純子（東北大学大学院医学系研究科教授）、「地域住民における多世代交流と子育て支援」小林江里香（東京都健康長寿医療センター研究所研究副部長）、「『精神障害者を支える』から『私たち』が、皆と、生き抜く』へ」長野敏宏（正光会御荘診療所所長）／プロフェッショナル探究セミナーⅠ「災害発生時の統括保健師の役割と機能」宮崎美砂子（千葉大学大学院看護学研究科教授）、奥田博子（国立保健医療科学院席主任研究官）

【2日目】

朝活！モーニングセミナー「プロフェッショナルの成長を促す一経験から学ぶ力」高橋平徳（愛媛大学教育・学生支援機構教職総合センター講師）／教育講演Ⅰ「プロフェッショナルリズム—自らの判断の基軸を考える」鈴木美香（京都大学IPS細胞研究所特定研究員）／教育講演Ⅱ「今こそ公衆衛生看護の基盤に遺伝看護を」中込さと子（信州大学医学部保健学科教授）／プロフェッショナル探究セミナーⅡ「『実践』と『研究・報告』をつなげて磨くコツ—学術奨励賞からヒントを得る」岡本玲子（大阪大学大学院医学系研究科教授）、山野井尚美（岡山県保健福祉部健康推進課課長）／市民公開講座「在宅医療が地域を変える—『人生会議』から『看取り』まで」永井康德（ゆうの森たんぼクリニック理事長）

【両日共通】

特別企画Ⅰ「愛媛県保健師活動アーカイブ」（編集：愛媛県看護協会保健師職能委員会）／特別企画Ⅱ「『E20s プラス ご当地いちおし保健活動』展示—愛媛県・20市町の保健活動等」／一般演題（示説）／

ワークショップ／企業展示／学会活動報告（会員集会）／懇親会

参加費（当日）：会員 1 万円，非会員 1 万 2000 円，学生 3000 円

問い合わせ先：

学術集会事務局

〒791-2101 愛媛県伊予郡砥部町高尾田 543 愛媛県立医療技術大学保健科学部看護学科内

✉ japhn8@epu.ac.jp

運営事務局

〒456-0005 愛知県名古屋市中熱田区池内町 3-21 株式会社ユピア内

FAX 050-3737-7331

✉ japhn8@yupia.net

URL japhn8.yupia.net

第23回 日本母乳哺育学会 教育委員会主催勉強会

日時：2月16日（日）10:00～16:00

会場：東医健保会館（東京都新宿区）

対象：保育士，保健師，医師，助産師，看護師，栄養士，薬剤師など

テーマ：母乳育児支援の基礎を学ぶ

プログラム：基調講演 1「母乳育児の大切さ」／基調講演 2「母乳はどのように作られて、赤ちゃんに運ばれるか」／シンポジウム「保育所での母乳育児支援—エビデンスに基づいた支援をめざして」

定員：100 名程度

参加費：

【事前申し込み（昼食付き）】会員 4000 円，非会員 8000 円

【当日申し込み（昼食なし）】会員 4000 円，非会員 8000 円

※事前申し込みは 1 月 31 日までの振込み完了をもって締切

申込方法：下記 URL から申し込み

URL www.kokuchpro.com/event/55f7cbc47e5912b4bc7cf9504fcf2e37

※ウェブサイトから申し込みできない

いは、FAX で受付 (FAX 申込書は日本母乳哺育学会ウェブページ [square.umin.ac.jp/bonyuu] からダウンロード)

問い合わせ先: 日本母乳哺育学会教育委員会主催勉強会・実行委員長 群馬パース大学保健科学部看護学科 臼井淳美
☎ 027-365-3366 (代表)

第 30 回 日本疫学会学術総会

日時: 2020 年 2 月 20 日 (木) ~ 22 日 (土)

会場: 京都大学百周年時計台記念館, 国際科学イノベーション棟 (京都市左京区)

テーマ: 「疫学と隣り合う諸科学: 共にさるなる発展を」

プログラム:

[2月20日] 疫学セミナー「多施設共同コホート研究の運営と成果発表—JACC Study の経験に学ぶ」(事前申し込み制, 定員に達し次第締め切り [空席があれば当日参加可能], 学術総会参加費とは別途に参加費が必要 [疫学セミナーのみの参加も可能]) / プレセミナー「QOL 評価の活用方法」「疫学研究における身体活動評価入門」「疫学×Python」(学術総会参加費とは別途に参加費が必要 [プレセミナーのみの参加も可能])

[2月21日] メインシンポジウム「疫学と隣り合う諸科学—共にさるなる発展を」 / シンポジウム 1 (社会医学系 4 学会, AMED 合同企画)「ライフコース疫学基盤の構築と臨床研究への貢献」

[2月22日] シンポジウム 2「DB 関連シンポジウム (PMDA 他)」 / シンポジウム 3 (国際化推進委員会企画)「What is expected as “Regional collaborative activities of

IEA-WP region」 / シンポジウム 4「疫学におけるバイオバンクの活用」 / シンポジウム 5 (メディア連携 WG 企画)

問い合わせ先:

京大事務局:

〒 606-8501 京都市左京区吉田近衛町 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学運営事務局:

〒 530-0001 大阪市北区梅田 1-11-4 大阪駅前第 4 ビル 5 階 株式会社日本旅行西日本 MICE 営業部内

☎ 06-6342-0212

FAX 06-6342-0214

✉ jea30@nta.co.jp

埼玉県立大学 研究開発センター 2019 年度 研究推進セミナー

日時: 2 月 29 日 (土) 13:00~16:30

会場: 埼玉県立大学北棟 (埼玉県越谷市)

テーマ: 実践と研究のコラボレーション—多職種チームによる研究の取り組み

参加費: 無料 (要申込)

定員: 80 名

座長: 飯岡由紀子 (埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科教授)

パネリスト: 小川朝生 (国立がん研究センター先端医療開発センター精神腫瘍学開発分野長), 前川智子 (国立がん研究センター東病院看護部), 尾関理恵 (東京理科大学薬学部医療安全学研究室助教), 岡村大介 (聖路加国際病院リハビリテーション科マネージャー)

申し込み方法: 以下 URL の申し込みフォームから, または, 氏名・連絡先 (mail, TEL, FAX)・所属・職種を明記の上, メール, または

FAX で申し込み

URL business.form-mailer.jp/fms/d6c73634111763

✉ Research_c@spu.ac.jp

FAX 048-973-4362

本欄へ掲載を希望する学会・研究会・講演会などのお知らせがありましたら, 本誌編集室までお送りください。

● ● ●

〒 113-8719

東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 03-5804-0485

✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp